

# 台風15号に被災された皆様にお見舞い申し上げます

台風15号が大きな被害を及ぼし始めた9月23日深夜から、安東川や遊水池周辺の水位の状況の確認作業をし、「今回は大きな災害になるかもしれない」と直感していました。私が暮らす城北学区でも相当数の床上浸水があり、自主防災活動組織が土砂の掻き出しや災害ごみの仮置場への移動など、迅速に機能し、地域の人々の支えとなりました。

私は、危機管理総室やごみ減量推進課や収集業務課などと市民の皆様との「パイプ役」、そして被災現場調査に徹しました。

この時期、安倍元首相の国葬問題や9月議会補正予算・決算議会と重なり、9月22日の総括質問、9月27日、28日の都市建設局議会審査（台風被災で10月3、4日に延期）、被災現場調査、10月13日の議会最終日の105億の緊急災害対策追加予算とタイトなスケジュールで息つく間もない毎日になりました。これからも地域の皆様の声が届く静岡市政を目指して奮闘して参りますので、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



## 9月22日 まつや清 総括質問

### ●第4次総合計画と葵歴史のまちづくりランドデザインについて

姫路市は、駅前と姫路城までを結ぶ大手前通り(800m)を「居心地よく歩きたくなるまちなか」をコンセプトに10年間がかりで整備をしました。これを参考に静岡駅と駿府城公園までの通りを「風格ある表玄関」になるよう提案しました。また、江川町交差点のスクランブル化への社会実験を実施しながら、10年間持ち越しになっている件を質問し、横断歩道設置の可能性を引き出しました。

(9月23日 静岡新聞)

江川町交差点は市中心部に位置する5差路の交差点。新たな横断歩道は、北街道沿いのDenbiri(デンビル)側と日本生命静岡ビル側を結ぶ形で設置する方針。警察や交通事業者と協議を進めている段階で、設置時期は未定という。将来的には交差点のスクランブル化を目指す。

### 新横断歩道設置へ

葵区江川町交差点に静岡市の八木清文都江川町交差点に新たな横断歩道を設置する方針を示した。松谷清氏(緑の党)への答弁。

江川町交差点は市中心部に位置する5差路の交差点。新たな横断歩道は、北街道沿いのDenbiri(デンビル)側と日本生命静岡ビル側を結ぶ形で設置する方針。警察や交通事業者と協議を進めている段階で、設置時期は未定という。将来的には交差点のスクランブル化を目指す。

市都市計画課によると、同交差点は歩行者が横断する際に地下通路の利用が必要な箇所があり、バリアフリーなどの観点から横断歩道の設置を求める声が多い。実現には交通渋滞の軽減や歩行者の事故防止のため車の交通量の抑制が課題で、今後、車両の分散化や公共交通機関の利用促進を図っていくという。

### ●旧統一教会と靈感商法など被害者等の救済について

靈感商法などについての消費者相談センターの対応や統一教会の信者であることをマスコミで公表された県議会議員が、議会で質問した「家庭教育支援条例とLGBTパートナーシップ宣誓制度」に関わる考え方を題材に、静岡市とその条例との関係について質問しました。

### ●県内32名の議員と連携し、安倍元首相の国葬反対の共同声明を発表 (9月1日 中日新聞)



まつや清公式 HP

### 安倍元首相の国葬反対 県内地方議員グループが声明

県内の地方議員でつくる「平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員ネットワーク静岡県」は八月三十日、県庁で会見し、銃撃事件で死亡した安倍晋三元首相の国葬に反対する声明を発表した。

声明には団体に所属する県議や市議、町議ら三十人が賛同。国葬に反対する理由として、安倍元首相の業績は国民の中で評価が分かれること、多額の国費が投じられること、弔意の強制につながることなどを挙げた。

共同代表の松谷清静岡市議は会見で「国葬は功績をたたえることになるが(旧統一教会の問題から注目が高まる)靈感商法について国の検証が始まり、アンバランスな状態。反対の世論が広がり、岸田文雄首相が(国葬の実施を)誤りだと反省してもらえれば」と述べた。

同団体には平和主義、立憲主義を掲げる超党派の地方議員が所属している。静岡以外に約二十都府県で同

国葬に反対する声明を発表する地方議員らによる団体メンバー＝県庁で